透かしを削除する Wondershare PDFelement

	10日（水）	11日（木）	12日（金）	13日（土）	14日（日）
省） 国内総 1 OEC リ） コロナ 、スー 富岳」 働（神	▽東京大空襲から76年 ▽国際オリンピック委員会（IOC）総会（～12日） ▽北東アジア経済発展国際会議（新潟市中央区）	▽東日本大震災から10年 ▽政府主催の東日本大震災追悼式（東京都千代田区） ▽欧州中央銀行（ECB）理事会（ドイツ・フランクフルト） ▽世界保健機関（WHO）が新型コロナウイルス感染症を「パンデミック（世界的大流行）」と表明してから1年	▽1～3月期の法人企業景気予測調査（財務省） ▽九州電力玄海原発の周辺住民らのグループが九電と国を相手取り、3、4号機の運転差し止めや設置許可取り消しを求めた二つの訴訟の判決（佐賀地裁） ▽国公立大2次試験の後期日程開始	▽JR各社がダイヤ改正 ▽えちごトキめき鉄道「えちご押上ひすい海岸駅」開業	▽グラミー賞発表・授賞式（米ロサンゼルス） ▽大相撲春場所（～28日、両国国技館） ◇おことわり　新型ウイルスの影響などで、予定が変更になる可能性があります。

ジーンズ愛 雪国包む

マルニ西脇（妙高市）　■1■

時代とともに にいがた企業ヒストリー Niigata

古くて、新しい ブランドそろえ郊外出店

経年変化が味わいを生み、愛着を育むジーンズ。マルニ西脇（妙高市）はジーンズ販売店を出発点に、オリジナル製品の企画・製造も手掛ける企業へと変化した。代表モデルは1本2万7千円以上。世界を席巻する「ファストファッション」とは一線を画し、こだわりの逸品を届け続ける。「たかがジーンズ、されどジーンズ」が創業以来の信条。デニムに豪雪地の物語を織り込んでいく。

×　×

1972（昭和47）年の春、上越市本町6の一角に、変わった雰囲気の店ができた。わずか7坪の店内に、ジーンズが所狭しと並ぶ。「マルニ西脇」の前身に当たる「マルニ衣料」は当時、地方では類を見ない、輸入ジーンズを扱う商店としてスタートした。

創業者の西脇正信氏は高校卒業後、長野が本社の旅客運送会社に勤めた。バスやタクシー事業は当時「花形」。そんな業界を60年代、モータリゼーションの波が覆う。経理として、業績の変化をいち早く感じ取った正信氏。「脱サラ」の思いがちらついた。

父長造氏は行商人。親戚には米屋、カメラ店など商売人が多く、以前から独立心を内に秘めていた。「待ってろ。仕事をさせてやるから」。妻で現会長の久仁枝氏(77)は、専業主婦だった当時、正信氏から掛けられた言葉を覚えている。

正信氏が業態を明かさず準備を進めたのがジーンズ店だった。「足元から眼鏡、ライターまで、とにかくモノにこだわる人だった」と久仁枝氏。親戚の呉服問屋を通じ、社員に提供するワイシャツを仕入れるなどファッションへの関心は高かった。

妙高高原町（現妙高市）の営業所時代、近隣には誘客のシンボル、赤倉観光ホテルがあった。都会の実業家や文化人らが続々と訪れた。「ジーンズなど都会の人のハイカラな格好を目に焼き付けていた」と久仁枝氏は述懐する。

当時、ジーンズを専門で売る店は近隣に見当たらなかった。メーカーと取引のあった親戚のパイプを生かし、開業を決めた。出店先は上越市の中心市街地。ただ、にぎわいから離れた問屋街だった。

3人入れば窮屈な店内にリーバイスにリー、ラングラーといった有名ブランドの逸品が並ぶ。流行の衣料を扱う店とはいえ、開店当初は苦戦。3年ほどは行商だった長造氏の稼ぎに頼った。

久仁枝氏は、雨具や肌着、寝袋などジーンズ以外の商品を出張販売し、日銭を得た日々を思い出す。つらかった。でも、高田の街を歩けば力が湧いた。一人、また一人とジーンズをはく若者を見る機会が増えていったからだ。

×　×

「兄ちゃん、これだ」。客に見合ったジーンズを勧める正信氏の一言は有無を言わさぬ重みがあった。

開業当時は高校生だったエフエム上越の熊田唯志代表(67)はバスの車窓から店を見つけた。思わず途中下車し、入店。それ以来の常連だ。正信氏は客を一目見て、ウエストサイズをぴたり言い当てた。ずり下げてはく客には「ジーパンがかわいそうだ」と頑として売らない。熊田氏は「ジーンズ愛にあふれていた」とその姿を懐かしむ。

上越市の店が軌道に乗ると、77（昭和52）年、新井市（現妙高市）の自宅を改装し、2店目を構えた。郊外の国道沿いで駐車場を備えた店は、辺りでは先進的だった。

その後、正信氏と久仁枝氏はジーンズの本場、米国を視察で訪れた。郊外型店舗が発展したロサンゼルスなどを巡り、日本の地方都市の未来図を予見した。帰国後、建築から3年余りの2号店を取り壊し、2階建てに拡張した。モータリゼーションの波に、今度は乗ろうとした。

店は若者であふれた。店とつながった自宅には閉店時間を過ぎても、ジーンズを求める客が戸をたたいた。「定休日はなく、働き詰め。家族の時間もあまりなかった」と久仁枝氏は語る。

貴重な団らんのひとときをすごしていた時だった。正信氏が倒れ、救急搬送された。久仁枝氏に病状が明かされた。余命3カ月の末期がん。正信氏、47歳の秋だった。

「マルニ西脇」の前身として創業し、輸入ジーンズなどを扱った「マルニ衣料」の店舗＝1972年、上越市本町6

会社データ

創業	1972年
設立	1997年
資本金	1300万円
売上高	1億円（2020年3月期）
事業内容	ジーンズ類の製造・販売、補修、輸入衣類の販売など
従業員数	7人

トレードオフ

日本で新型コロナウイルスの感染が確認されてから1年が経過した。わずか1年ではあるが、この間の世界の変化を思うと文字通り隔世の感がある。昨春以来、日本政府はさまざまな対策を講じてきた。振り返ると、初めての事態でやむを得ない面があるとは言え、大きな問題点を指摘せざるを得ない。

感染症と経済の関係に絞ると、政府は昨年の早い時期からこれら二つの「両立」を強調してきた。しかし感染が人の接触や移動によって生じる以上、両者には一方が改善すればもう一方は悪化する「トレードオフ」の関

経済私評

岡崎　哲二（東京大大学院教授）

ECB、金利上昇けん制か

今週は欧州中央銀行（ECB）が11日にユーロ圏の金融政策を議論する理事会を開く。三菱UFJモルガン・スタンレー証券の植野大作チーフ為替ス

焦点

応の資産購入枠拡大を決めた。新型コロナウイルス流行による景気悪化対策として少なくとも来年3月末まで続ける計画を既に示しており、今回は「こ

ョコレートGABA ゃかミルク〉

江崎グリコの「メンタルバランスチョコレートGABA（ギャバ）フォースリープ〈まろやかミルク〉」は、睡眠の質を高めるアミノ酸の一種「ギャバ」を配合した機能性表示食品のチョコレートだ。2020年の売

Weekly Biz

っきり

方の多様化や健康志向で睡眠への関心も高く、「オフタイムをサポートできる商品も必要だ」と考えた。

「夜にチョコを食べる」という矛盾するような組み合わせをアピールするために、「根拠を

Last Week

生
バンク傘下で
ールディング
E（ライン）
。多様なサー
級のIT企業

た2020年10～
は、金融・保
常利益が前年
505億円で、
スだった。減

支援をした米国籍の親子について身柄の引き渡しを受け、犯人隠避などの疑いで逮捕した。

▽生活保護申請が増加

2020年の生活保護申請件数は22万3622件（速報値）で、前年から1672件増えたことが3日、厚生労働省の集計で分かった。増加は比較可能な13年以降初。新型コロナによる雇用情勢悪化が影響したもよう。

▽DV相談8万件超

2020年に全国の警察に寄せられたDVの相談は8万2643件で過去最多を更新したことが4日、警察庁の統

衛官の男に富山地裁が5日、無期懲役を言い渡した。強殺罪は成立せず、被告の自閉症スペクトラム障害の動機への影響を認め「死刑がやむを得ないとは言えない」とした。

国　際

▽デモ参加者死亡

ミャンマー国軍のクーデターに対する抗議デモが各地で続き、治安当局による参加者への銃撃などが相次いだ。2月28日には少なくとも計18人が、3月3日には計38人が死亡。緊張が高まり、各国が批判の声を上